

子どもたちを自転車事故から守るための条例制定に関する請願

1 趣 旨

全国で起こっている交通事故のうち、自転車事故で死亡した人の6割以上が頭部に致命傷を負っている。頭部を守るためにヘルメットを着用することが大事だということは、言うまでもない。福井県で2015年から2019年の5年間で起こった小中学生の交通事故は177件(福井県警)であった。そのうち自転車事故は108件と全体の61%を占めている状況である。近年は子どもの自転車での死亡事故は起こっていないが、平成25年には鯖江で小学生が死亡している。

また、他県では子どもの自転車での高額加害事故も起きており保護者に高額な賠償が命ぜられる事例も見られる。被害者の大切な命を奪いかねない状況を重く捉え、裁判所は保護者に監督責任を認め、高額な賠償を命じるということが実際に起こっており、家庭へ経済的負担が重くのしかかり、救済措置も喫緊の課題である。

子どもたちの身を自転車事故から守るためのヘルメット着用義務化と高額賠償を保障するための自転車保険の加入義務化に関する条例を制定することが今こそ必要である。

そこで、下記のとおりで請願する。

記

子どもたちを自転車事故から守るために「小中学生の自転車乗車時のヘルメット着用義務化」と「自転車保険の加入義務化」を条例化してほしい。

2 提 出 者

福井の教育をよくするための県民連合 会長 室田浩和

3 紹 介 議 員

仲倉典克、西畑知佐代、西本恵一、細川かをり

4 受 理 年 月 日

令和2年11月19日